

第1報

宮臨技 第72号
平成26年 7月 25日

会員各位

一般社団法人 宮城県臨床検査技師会
会長 齋藤 和榮
(公印省略)

平成26年度「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」のお知らせ

謹啓

時下、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は宮臨技に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、平成26年度 日臨技・宮臨技主催研修会「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を開催する運びとなりました。第1報としてお知らせさせていただきます。

敬具

1 研修目的

平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知(医師及び医療関係事務職員等との間等での役割分担の推進)をうけ、平成25年度において各都道府県技師会から各1名の企画担当者を選任のうえ、「平成25年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」を開催しました。

この講習を受けた企画担当者が各都道府県単位で「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を開催し、臨床検査技師に患者向けの臨床検査説明・相談実施に必要な知識及び技術を習得させ、もって臨床検査技師のチーム医療参画の質的向上を図ることを目的としています。

2 講習会の実施等

本講習会は、日臨及び都道府県技師会共同主催とし、3年間で日臨技会員の約1割に相当する5,000名の講習修了者を目標に実施することとし、47都道府県技師会で開催します。

- 3 主催 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
一般社団法人 宮城県臨床検査技師会

- 4 後援 厚生労働省 公益社団法人 日本医師会
公益社団法人 日本看護協会 一般社団法人 日本病院会
公益社団法人 全日本病院協会 公益社団法人 全国自治体病院協議会
一般社団法人 日本臨床検査医学会 チーム医療推進協議会
現在県内各団体へ後援依頼を行っています。
- 5 受講対象
当会会員臨床検査技師を対象
- 6 実施期間
平成26年度～平成28年度の3年間
- 7 参加募集人員
平成26年度30名 開催日平成26年10月25日 26日の2日間
平成27年度30名 未定
平成28年度30名 未定
計90名
各回の研修会内容は同じですので、参加希望の方は、3回開催のうち1回の受講をお願いいたします。参加は申し込み順になり、参加人数が定員を超えた場合は、翌年開催の講習会へ優先的に回させていただきます。
- 8 受講料 10,000円（各回同じ受講料です）
- 9 生涯教育点数 専門30点
- 10 申し込み方法 詳細は8月下旬に宮臨技からお知らせいたします。

研修会責任者
（一社）宮城県臨床検査技師会学術部部长
大崎市民病院 氏家 和明

第1報(案) 正式案内は8月下旬の宮臨技定期発送でお知らせします。

平成26年度(一社)日本臨床衛生検査技師会・
(一社)宮城県臨床検査技師会主催研修会

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会

【目的】平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知(医師及び医療関係事務職員等との間等での役割分担の推進)をうけ、臨床検査技師が患者向けの臨床検査説明・相談実施に必要な知識及び技術を習得し、もって臨床検査技師のチーム医療参画の質的向上を図ることを目的とする。

【日時】平成26年10月25日(土)8:30~26日(日)16:00

【場所】東北大学医学部保健学科 大講義室
仙台市青葉区星陵町2-1

【日程】

《1日目》 10月25日(土)

8:30 受付

9:00 開講式/オリエンテーション

開会の挨拶 宮城県臨床検査技師会長

9:15 (ビデオ放映)『臨床検査技師が検査説明・相談に取り組む意義』

講師:日本臨床検査技師会長 宮島 喜文

9:45 (ビデオ放映)

『臨床検査技師の検査説明・相談に期待するもの 病院管理者の立場から』

講師:医療法人社団慶成会青梅慶友病院 木村 満

10:15 講演『看護師の患者接遇』

講師:東北公済病院看護部長 熊谷 恒子

看護師が現場で行っている、看護実践の基盤となるコミュニケーション能力について、事例を交えながらご教授いただく。

11:15 講演『患者心理について』

講師:大崎市民病院本院診療部主任臨床心理士 渡邊 裕美

臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする“心の専門家”で、かつ総合病院で実際患者と接している講師から、患者心理についてお話しいたします。

12:15 休憩

13:30 (ビデオ放映)『実践から学ぶ検査説明研修会事例紹介』

講師:飯田市立病院 實原 正明

14:30 ロールプレイ『接遇の基本』

講師 C-Plan

医療機関に特化した人材育成を中心とした業務改善等のコンサルティング会

社 C-Plan から講師をお呼びし、医療における良好なコミュニケーション力の向上と、クレームへの対応法について学ぶ。

17 : 30

《 2 日目 》 10 月 26 日 (日)

9 : 00 R-CPC 〈初級レベル〉

講師：(元) 東北大学医学部保健学科 検査技術科学 教授

吉田 克己

症状や診察所見の情報のない状況で、臨床検査データをもとに、症例の病態を推定しつつ討論する R-CPC 初級レベルを準備いたします。

10 : 30 『検査説明・相談の実例 (模擬演習) 』

講師：岩手県立中部病院主任臨床検査技師 工藤 奈美

実際に検査説明を実施している立場から、経緯、状況、実績、内容、課題等についてお話しいただく予定です。

12 : 00 休憩

13 : 00 『検査説明の実際 〈初級レベル〉 』

講師：岩手医科大学病院検査部教授 諏訪部 章

臨床検査技師が検査説明を実施する必要性についてお話しいただき、結果説明の実技を通して、能力向上を目指す。

15 : 30 総合討論

来年度以降の開催にむけて、課題等があれば討論をおこないたい。

16 : 15 閉講式

16 : 30 解散